



は じ め に

福生市は、昭和45年7月1日に市制を施行し、満20周年を迎え、この間、公共下水道や、道路などの都市施設や市民会館、図書館、体育館、地域会館など市民施設の整備が進められ、順調に発展を続けてまいりました。

しかし、今後は予想される高齢化や国際化、情報化、あるいは価値観の多様化などの社会経済諸情勢の変化に対応できるまちづくりが迫られております。

本年からスタートいたしました第2期総合計画の将来像「輝く街 福生」の実現のためこうした諸施策を進めて参ります。

当市の約1/3を占める米空軍横田基地は、終戦により接収されてからほぼ半世紀の歳月を経て、その機能は輸送中継基地としてますます強化されております。この横田基地について、基本構想のなかでは、「無いことが望ましいが、基本構想の目標年次である21世紀初頭までに全面返還される可能性を想定することは困難である。返還された場合における計画については別に定めることとし、本基本構想については、基地が存在する現実を前提とする」としています。

しかしながら、この存在につきましては、市民生活に様々な影響をおよぼしております。

本書は、こうした基地に起因する多くの諸問題を抱える本市の現状を知っていただくとともに、基地周辺対策事業関係資料集としてとりまとめたものでありまして、関係各位のご参考になれば幸いです。

発刊に際しまして、資料のご提供やご指導、ご協力をいただきました多くの方々に厚く御礼を申し上げます。

平成3年3月

福生市長 石 川 彌 八 郎